

# 本を読むことで、 伸ばせる力・見えてくる世界



新入生のみなさん。そして在校生のみなさん。  
ご入学・進級おめでとうございます。

突然ですが、みなさんは月に何冊くらい本を読みますか？文字だけだと飽きてしまうと思う人もいるかもしれませんが、本を読むことは面白く、そして、素晴らしいことです。

ディズニーランドの創業者で有名な実業家ウォルト・ディズニー氏も

**「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。  
そして何よりも、宝を毎日味わうことが出来るのだ。」**  
という言葉を残しています。

本を読むことにより、脳内で言葉をイメージ化しやすくなり、想像力や創造性などクリエイティブな思考を豊かにします。

それは勉強や生活をする上で、また将来に必ず役立つ、**文章を読む力や、書く力、語彙力、コミュニケーション能力**などの力を伸ばすことに繋がります。また読書という旅をすることで、行ったことのないアフリカの動物の群れも、エベレスト山頂からの360度の眺めも、宇宙のかなたからの地球さえ見ることができます。



新型コロナウイルス感染症の影響で、家にいる時間が長くなりました。こんな時こそ今の学校生活や将来のため、あるいは未知の世界に出会うために本を読むことをお勧めします。

2021年4月現在で、中央図書館には12万冊弱の、清瀬市内の図書館の合計では40万冊以上の図書所蔵し、皆さまのご利用をお待ちしています。

# Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.43 2021.4

清瀬市立図書館

泣いたあとは、新しい靴をはこう。  
10代のどうでもよくない悩みに  
作家が言葉で向き合ってみた

日本ペンクラブ／編  
ポプラ社



生きていると自分の思い通りにならないことが多く、学校での出来事や友達との関係や家族や将来についてなど、誰にも言えず相談もできずに悩んでいることはありませんか。

この本はそんな様々な悩みに対し、作家や翻訳家たちが、わかりやすい言葉で説明し、詳しくアドバイスをしてくれます。読んでいると優しい言葉に勇気もらえ、だんだん気持ちが軽くなっていきます。

悩み苦しんで、泣いて立ち止まってしまったとしても、また「新しい靴」をはいて歩き出そう。そんな気持ちになる作品です。

〈中央図書館 根岸〉

違う国の教科書を見たことがありますか？この本はカラー写真、写実的なイラスト満載、オランダ中学校の生物の教科書です。

私たちは生物学と聞くと細胞、光合成、遺伝子などを思い出し「ヒトの生物学」に関することを、あまり学習しませんでした。しかし、オランダの教科書では、知っておきたいヒトの発生や生殖、感染症、薬物依存など、十代の自分を守る方法が紹介されています。

巻末の「さくいん」ページには驚きのしかけ、下線の引いてあるものは日本の学習指導要領で教えない用語を指しています。日本の学校ではこんなに学ばないものがあります。未来を生き抜く技を知ってください。

〈竹丘図書館 吉高〉

14歳からの生物学  
学校では教えてくれない(ヒト)の科学

サリー・ヒル／編  
松田 良一・岡本 哲治／監訳  
白水社



以前に大ヒットした『ざんねんないきもの事典』シリーズを読んだ方も多いでしょう。この本も生き物の世界を垣間見るエピソードや、必死な生き物には失礼ながら、くすりと笑っちゃう話が4コマの漫画のなかに満載です。

筆者は、一日一種氏という野生動物調査員だった方。そういう職業があるの！と調べました。『13歳のハローワーク』に出ています。

メダカやカタツムリの飼い方や説明も載っています。興味のある登場生き物について、深掘りして「身近な動植物」をもっともっと身近に感じてください。

〈駅前図書館 松田〉

わいるどらいふっ！2  
身近な生きもの観察図鑑

一日 一種／著  
山と溪谷社



日向丘中学校カウンセラー室

まはら 三桃／著  
アリス館



この本の中の「日向丘中学校」には、“さんづけ”で呼ばれる名前が三つあります。学校の事務員の“清二さん”、学校のスクールカウンセラーの“綾さん”、正体不明の“ゴウスケさん”の三人です。

学校には些細なことがきっかけで友達関係に悩んでいる生徒、なにかモヤモヤを抱えている生徒、少し大人にいたずらしたい生徒たちがいます。スクールカウンセラーの“綾さん”たちはそんな生徒たちを近すぎず、遠すぎず、やさしく見守っています。

読むと、ほんわかとした気持ちになると思います。ちょっとした息抜きに読んでみてはいかがでしょうか。

〈中央図書館 石井〉